



ファームウェアバージョン:	V3.00.017	
ハードウェアバージョン:	DGS-1100-24PV2	A1/A2/A3
発行日:	2022/11/21	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード時の注意事項:	2
WEB GUI を使用したアップグレード手順:	2
追加機能:	5
MIB および D-View モジュールの変更点:	5
修正した問題:	5
既知の問題:	6

変更履歴とシステム要件 :

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
Runtime: V3.00.017	2022/11/21	DGS-1100-24PV2	A1/A2/A3

アップグレード時の注意事項 :

- **コンフィグレーションのリストアに関して以下の制限があります。**
 - R1.00.xxx をご利用の機器に、R2.00.xxx/R3.00.017 のコンフィグをリストアすることはできません。
 - R2.00.xxx/R3.00.17 をご利用の機器に、R1.00.xxx のコンフィグをリストアすることはできません。

※アップグレード/ダウングレードにおいては、バージョンに関わらずコンフィグレーションは問題なく引き継がれます。
- **ハードウェアバージョン : A3 をご利用の場合**
 ファームウェアは R3.00.017 のみ使用できます。
 R2.00.011、R 2.00.003 、 R1.00.xxx へはダウングレードできません。
- **ハードウェアバージョン : A2 をご利用の場合:**
 ファームウェア R 2.00.003 、 R1.00.xxx へダウングレードすることはできません。
 R2.00.011 から R3.00.017 へのアップグレード、R3.00.017 から R2.00.011 へのダウングレードは実行できます。
- **ハードウェアバージョン : A1 をご利用の場合**
 すべてのファームウェア (R3.00.017、 R2.00.xxx 、 R1.00.xxx) を使用できます。
- **FW:3.00.017 は DGS-1100-24PV2 でのみ使用できます。**

WEB GUI を使用したアップグレード手順 :

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
 デフォルトのシステム IP アドレス : 10.90.90.90
 デフォルトのログインパスワード : admin
3. 「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。以下の手順を参照し、アップグレードを実施してください。

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) 「Tools」 > 「Firmware Upgrade & Backup」 > 「Firmware Upgrade from HTTP」 の順にクリックします。
- (2) ローカル PC 上のファームウェアのファイルを選択して「Upgrade」をクリックすると、ファイル転送及びアップグレードが開始されます。

- (3) アップグレード中のステータスを表すメッセージが表示されます。メッセージが消えるまでそのままお待ちください。

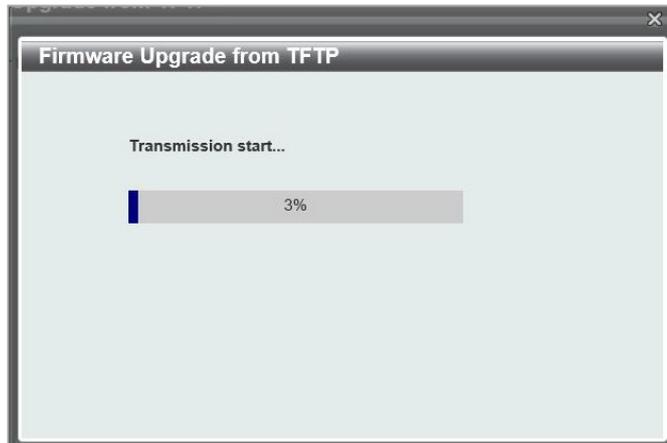


注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) 「Tools」 > 「Firmware Upgrade & Backup」 > 「Firmware Upgrade from TFTP」 の順にクリックします。
- (2) TFTP サーバの IP アドレスとファイル名を指定して「Upgrade」をクリックすると、ファイル転送及びアップグレードが開始されます。
TFTP Server IP：TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
Source File：TFTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファームウェアファイル名を入力します。
(例：DGS1100V2_Ax_FW3_00_017.bin)

- (3) アップグレード中のステータスを表すメッセージが表示されます。「Done.」（完了）メッセージを確認後、ポップアップ画面を閉じます。



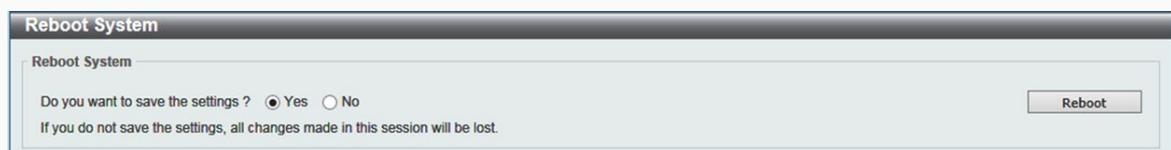
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 「Tools」 > 「Firmware Information」 をクリックします。
5. 該当するイメージ（Ver3.00.017）の行にある「Boot UP」 ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※ 「Image ID」 欄の* は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

6. 「Tools」 > 「Reboot System」 を選択し、Reboot System 画面で「Yes」を選択して「Reboot」 ボタンをクリックします。



7. 確認メッセージが表示されるので、「OK」 をクリックします。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

8. スイッチの再起動後に Web 管理画面にログインし、R3.00.017 で起動していることを確認します。

Device Information			
Device Information			
Device Type	DGS-1100-24PV2 Gigabit Ethernet Switch	MAC Address	88-4c-c3-0e-a2-49
System Name	SWITCH	IP Address	10.90.90.90
System Location		Mask	255.0.0.0
System Contact		Gateway	0.0.0.0
Boot PROM Version	Ver 1.11	System Time	01/01/2000 00:01:05
Firmware Version	Ver 3.00.017	Serial Number	QSA51JC000003
Hardware Version	A1		

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
R3.00.017	<ol style="list-style-type: none"> DGS-1100-24PV2 のハードウェアバージョン A3 をサポート致しました。 L2 Features > Link Aggregation 画面に「System Priority」「Load Balance Algorithm」の設定項目を追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点 :

MIB ファイル	変更点
DLINKPV2-SYSTEM-FILE-MIB.MIB	NextBootup をサポート致しました。
DLINKPV2-DEVICE-INFORMATION-MIB.mib	CPU 使用率とメモリ使用率の取得をサポート致しました。
DLINKPV2-LACP-EXT-MIB.mib	LACP システムプライオリティとロードバランスをサポート致しました。

修正した問題 :

ファームウェアバージョン	修正した問題
R3.00.017	<ol style="list-style-type: none"> 12時間経過後にWeb GUIが応答なくなる場合がある問題を修正致しました。 セットアップウィザードの「Ignore the wizard next time」(次回から表示しない)にチェックをいれても、リポート後に再度セットアップウィザードが表示される問題を修正致しました。 SNMPコミュニティ名に"-(ハイフン)"が使用できない問題を修正致しました。 DHCPメッセージのoptionを削除致しました。 Time Range設定で、曜日を個別に選択できない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.017	<p>1. コンフィギュレーションのリストアに関して以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - R1.00.xxxをご利用の機器に、R2.00.xxx/R3.00.017のコンフィグをリストアすることはできません。 - R2.00.xxx/R3.00.017をご利用の機器に、R1.00.xxxのコンフィグをリストアすることはできません。 <p>2. ハードウェアバージョン：A3をご利用の場合、以前のファームウェア（R2.00.xxx、R1.00.xxx）へダウングレードすることはできません。 ハードウェアバージョン：A2をご利用の場合、以前のファームウェア（R2.00.003、R1.00.xxx）へダウングレードすることはできません。</p> <p>3. Configure VLAN Interface画面で行ったVLAN変更が、802.1Q VLAN画面に反映されない場合がある問題。 VLAN Configuration Wizard でVLAN2を作成しUntaggedポートを登録 →VLAN Interface画面の「Edit」で該当のポートをAccessモードに変更しVLAN1へ変更を行っても、最も番号の大きいポート（ポート2-4をUntaggedポートとして登録した場合はポート4）のVLAN変更が802.1Q VLAN画面では反映されず、VLAN2のまま表示されます。</p> <p>回避策： Configure VLAN Interface画面でいったん該当ポートのモード/VLAN設定を変更（Hybrid/VLAN2など）して保存→再度設定（Access/VLAN1）を行うと、802.1Q VLAN画面でもVLANの変更が正しく反映されます。</p>

Copyright 2006-2022 D-Link Japan K.K.